

※本資料は2025.11.28時点の情報です。今後変更になり次第随時更新の予定です。

速報!

超

2026年度も継続！

過去最大級に次ぐ特大補助金がスタートします

3省連携 住宅省エネ化への支援強化策

令和7年度予算案 予算:3,780億円

住宅省エネ2026キャンペーン

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する措置や高効率給湯器の導入など、新築住宅の省エネ化や、既存住宅の省エネリフォームへの支援を強化することが必要。国土交通省、経済産業省及び環境省は、3省の連携により、「省エネ住宅の新築を支援する補助制度」、「既存住宅の省エネリフォームを支援する補助制度」のそれぞれについて、各事業を組み合わせて利用すること(併用)を可能とする。

事業	内容			補助額	予算額
①先進的窓リノベ 2026事業 (環境省)	省 エネ 改 修	1) 高断熱窓の設置	Uw≤1.9以下の窓 等 建材トップランナー制度2030年 目標水準値を超えるもの、その他 要件を満たすもの 等)	上限100万円/戸	1,125 億円
②給湯省エネ 2026事業 (経産省)	2) 給湯器	高効率給湯器の設置	高効率給湯器 (ヒートポンプ他)	定額10~17万円 (工事内容による)	570 億円
③賃貸集合給湯 省エネ2026事業 (経産省)		既存賃貸集合住宅における エコジョーズ等取替	エコジョーズ/エコフィール 従来型給湯器からの取替に限る 賃貸集合住宅に設置する場合に限る	追焚機能無し:5または8万円 追焚機能有り:7または10万円	35 億円
④みらいエコ住宅 2026事業 (国交省) ※1	※ そ の 他	3) 必須工事:開口部・躯体等の省エネ改修工事 ※3 開口部、外壁、屋根・天井または床の断熱改修、エコ住宅 設備の設置の組合せ	リフォーム 上限 40~100万円/戸 (対象住宅・改修工事による) +家庭用等蓄電システム 導入費の3/10 新築 上限 55~125万円/戸 (世帯種類・改修工事による) +家庭用等蓄電システム 導入費の3/10	2,050 億円 新築: 1,750 億円 リフォーム: 300 億円	
		住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・ 換気機能付きエアコン設置工事等			

※1 新築は国交省・環境省

※2 上記3)の工事を行った場合に限る

※3『リフォーム前の省エネ性能』と『リフォーム後の省エネ性能』に応じた改修部位や設備の組合せをあらかじめ指定・公表する

※
令和7年11月28日以降の工事着手が対象です

※補正予算閣議決定日

気になる
ポイント

- “住宅省エネ2026キャンペーン”～2025CPからの変更点・ポイント**
- 先進的窓リノベ2026事業において一部の非住宅建築物も対象となりました。
 - 先進的窓リノベ2026事業において補助額上限が100万円/戸に減額となりました。
 - みらいエコ住宅2026事業において対象住宅はリフォーム前の省エネ性能が平成11年基準を満たさないものに限定されます。
 - みらいエコ住宅2026事業においての必須工事項目は指定された組合せに限定されます。

緊急告知!!

“住宅省エネ2026キャンペーン(先進的窓リノベ・国交省支援事業) 速報セミナー開催！”



- ・日時: 2025年 12月 ~制度概要が公表され次第、開催します。
- ・開催方法: オンライン形式 ~URL、定員などは開催日決定と合わせてご連絡いたします。
- ・内容: 次年度版補助事業の概要と変更点 / 対象予定製品の先行情報 など

